

式 辞

桜のつぼみも膨らみ始め、心地よい風に春の訪れを感じる良き日に、徳島市津田中学校第七十七回卒業式を、保護者の皆様や、来賓の皆様の、ご参列の下、挙行できますことを、大変うれしく存じます。

さて、卒業証書をお渡した九一名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。振り返れば、皆さんが入学した年は、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大防止により、各種行事が中止、もしくは縮小されてきました。

皆さんが中学校入学と同時に校長先生もこの津田中学校に赴任してきました。この三年間、学校生活をとにも過ごすなかで、修学旅行を始めいろいろな学校行事をこなしていく

たびに皆さんの成長する姿を感じ取っていました。

昨年度の五月にコロナ感染症が第2類から第5類に引き下げられたことで体育祭と文化祭をコロナ前のように別々に開催することが出来ました。割れんばかりの声で応援する様子、大きなジェスチャーで演技する姿を見て本当に心を打たれました。

皆さんが過ごした津田中学校でのすべての活動が、皆さんの真の学びとなっっています。自らの成長を胸に刻み、次への扉を開いて欲しいと思います。

一ヶ月後には、新たな環境で新たな友達と新たな生活が始まっています。皆さんは、激動する社会の中で、勇気と行動力を持って、自分の人生を切り開いて、前に進んでくれることを期待します。

そんな皆さんへ、校長先生から「三つ」のはなむけの言葉を贈りたいと思います。

一つ目は、「感謝の心を忘れず、社会に貢献できる人・役立つ人になつて欲しい」と言うことです。

みなさんがここまで生きてこられ、卒業証書を手にする事ができたのは、みなさん一人ひとりの努力があったことはもちろんですが、その陰には間違いなく温かく見守ってくださったお父さんやお母さんなど家族の方や友人、地域の皆さん、そして恩師など多くの人のお力添えや愛情があったことは理解できると思いますが。多くの人の援助があつて初めて一人前の大人に成長できるのです。若いうちは大いにその援助を受け、活用し力を蓄えてください。これから続く長い人生のなかで、多くの人

と関わり様々な人たちから有形、無形の恩恵を受けて皆さんは成長し、生き続けていくわけです。それを当然のことと考えるような人にだけはなつて欲しくありません。その感謝の気持ちを義務教育終了の本日を機に少しずつ、今度は家族や地域、社会貢献として返して欲しいと思います。

二つ目は、「今という時間を大切にして欲しい」ということです。

今年度は徳島市のブロック人権問題学習大会が本校を会場として行われました。3年生は結婚差別について学習しました。校長先生が以前、3年生のクラス担任をしているときに、必ず「娘の遺してくれたもの」という資料を学習しました。日航ジャンボ機墜落事故に巻き込まれてこの世を去った田中愛子さんという一

人の女性の生涯を綴った資料です。
「一日一生涯」の思いを胸に生き抜いた愛子さんが遺した言葉が 「人は軽く十年先、二十年先を口にするけれど、そのときを大切にしなければ、今光っていたい」先のことを口にするよりも、今を大切に生きていかなければいけないと言うことです。「今」という時は2度と帰ってきません。その「今」と言う時間を無駄にせず、光、輝ける「今」を生きてください。

三つ目は、「志を持って欲しい」と言うことです。

今、皆さんが持っている夢や希望を「志」として、まっすぐに挑戦して欲しいと思います。失敗を恐れてはいけません。失敗はそのときは辛いです。人生に多くの示唆を与えてくれ、次への挑戦と飛躍への原動力、

すなわちあなた達自身の人間力となるはずです。

校長先生が新任の頃にてあって、今でも好きなサミュエルウルマンの「青春」という詩をご紹介します。ただきまず。

「青春とは人生のある期間をいうのではなく心の持ち方をいう。二〇歳で青春を終わらせる人がいれば、八〇歳で青春を謳歌する人もいる」と言う詩です。校長先生は八〇歳になっても青春を謳歌していると皆さんに伝えられるような人生を送ろうと思っっています。どうか皆さんも「志」を胸に刻み、挑戦を続け、一〇〇歳まで青春を貫く人生を歩んで欲しいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はおめでとうございます。

この十五年間、保護者の皆様には、

常にお子様から心を離さずその成長を温かく見守り、時には大きな壁となりながらご苦労されてきたことと拝察いたします。そのご苦労にあらためて敬意を表しますとともに、本校教育に対して常に温かなご理解ご協力をいただいて参りましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございます。ございました。

それでは卒業生の皆さんの健康と新たな門出を祝し、その揚々たる前途の幸せを祈るとともにご参列いただきました皆様方のご健康と、益々のご発展を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和七年三月七日

徳島市津田中学校長

川 中 善 暢